

水島港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 -0.23m(-0.34m ~ -0.10m)
 Zo：1.70m ~ 2.00m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



1:30,000

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

最大水位低下

0.5~最大1.0m

0.5未満

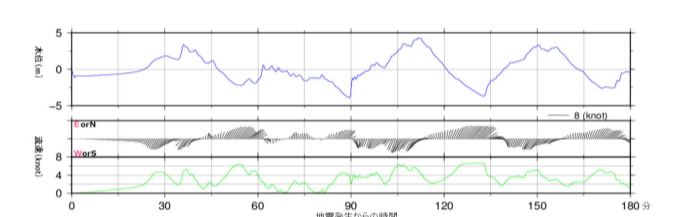
露出域

干出域

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

(例) 水位、流向・流速経時変化図



引潮時最大流 (knot)

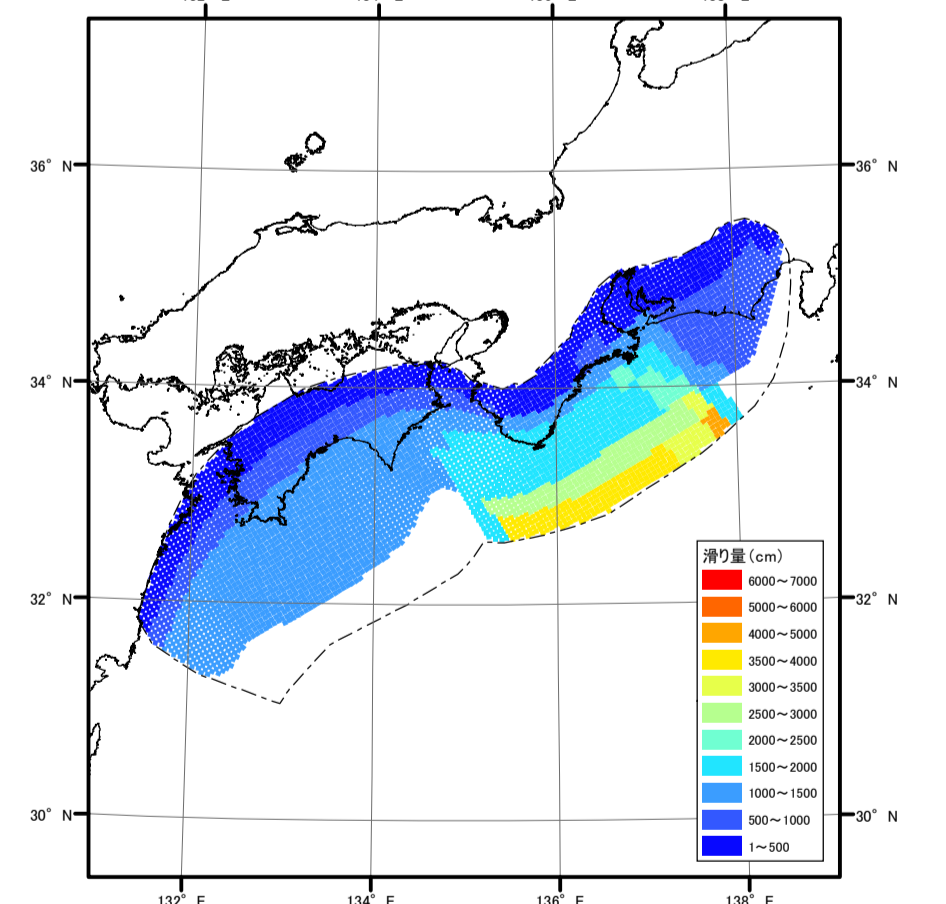
3 knot

2 knot

1 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース②「紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N-m)	6.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.7
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。